■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2003年９月２日から2023年８月21日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に投資を行うことにより、安定的かつ高水準の利息収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 **エマージング債券マザーファンド** 新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券
当ファンドの運用方法	■エマージング債券マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に投資します。 ■ＪＰモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算）をベンチマークとします。 ■実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ■ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドの運用ノウハウを活用します。 ■マザーファンドにおける運用指図にかかる権限をティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドへ委託します。
組入制限	**当ファンド** ■株式への実質投資割合は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権行使により取得したものに限り、取得時において信託財産の純資産総額の５％以内とします。 ■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 **エマージング債券マザーファンド** ■株式への投資割合は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権行使により取得したものに限り、取得時において信託財産の純資産総額の５％以内とします。 ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

エマージング債券ファンド（毎月分配型）

【運用報告書（全体版）】

第39作成期（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

第228期／第229期／第230期
決算日2022年９月20日　決算日2022年10月20日　決算日2022年11月21日

第231期／第232期／第233期
決算日2022年12月20日　決算日2023年１月20日　決算日2023年２月20日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。
当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に投資を行うことにより、安定的かつ高水準の利息収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。
今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

三井住友DSアセットマネジメント
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
https://www.smd-am.co.jp

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
コールセンター　0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			（ベンチマーク）JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算）		公社債組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込分配金	期中騰落率		期中騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
204期（2020年９月23日）	6,244	30	△3.0	309.73	△2.5	95.0	5,696
205期（2020年10月20日）	6,269	30	0.9	313.88	1.3	95.7	5,689
206期（2020年11月20日）	6,305	30	1.1	315.05	0.4	95.1	5,688
207期（2020年12月21日）	6,417	30	2.3	319.54	1.4	95.2	5,762
208期（2021年１月20日）	6,341	30	△0.7	317.46	△0.6	94.6	5,663
209期（2021年２月22日）	6,382	30	1.1	320.57	1.0	95.2	5,621
210期（2021年３月22日）	6,424	30	1.1	323.50	0.9	94.0	5,612
211期（2021年４月20日）	6,506	30	1.7	328.20	1.5	95.5	5,634
212期（2021年５月20日）	6,537	30	0.9	331.49	1.0	93.9	5,636
213期（2021年６月21日）	6,667	30	2.4	340.05	2.6	93.5	5,722
214期（2021年７月20日）	6,594	30	△0.6	339.29	△0.2	93.5	5,608
215期（2021年８月20日）	6,582	30	0.3	340.18	0.3	95.2	5,553
216期（2021年９月21日）	6,564	30	0.2	340.80	0.2	95.6	5,457
217期（2021年10月20日）	6,676	30	2.2	349.47	2.5	96.5	5,525
218期（2021年11月22日）	6,608	30	△0.6	348.16	△0.4	95.5	5,423
219期（2021年12月20日）	6,520	30	△0.9	345.47	△0.8	94.8	5,340
220期（2022年１月20日）	6,311	30	△2.7	336.61	△2.6	93.3	5,104
221期（2022年２月21日）	6,247	30	△0.5	334.82	△0.5	94.6	5,014
222期（2022年３月22日）	6,172	30	△0.7	327.81	△2.1	95.0	4,901
223期（2022年４月20日）	6,425	30	4.6	341.40	4.1	96.0	5,053
224期（2022年５月20日）	5,982	30	△6.4	322.44	△5.6	93.1	4,675
225期（2022年６月20日）	6,097	30	2.4	332.26	3.0	93.4	4,720
226期（2022年７月20日）	5,928	30	△2.3	329.09	△1.0	92.8	4,577
227期（2022年８月22日）	6,289	30	6.6	344.75	4.8	93.8	4,796
228期（2022年９月20日）	6,295	30	0.6	349.21	1.3	93.5	4,781
229期（2022年10月20日）	6,091	30	△2.8	341.14	△2.3	93.2	4,605
230期（2022年11月21日）	6,170	30	1.8	342.02	0.3	91.6	4,643
231期（2022年12月20日）	6,093	30	△0.8	339.32	△0.8	90.7	4,569
232期（2023年１月20日）	5,975	30	△1.4	334.34	△1.5	93.7	4,470
233期（2023年２月20日）	6,032	30	1.5	340.04	1.7	94.9	4,448

※基準価額の騰落率は分配金込み。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。
※ベンチマークは、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。
※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

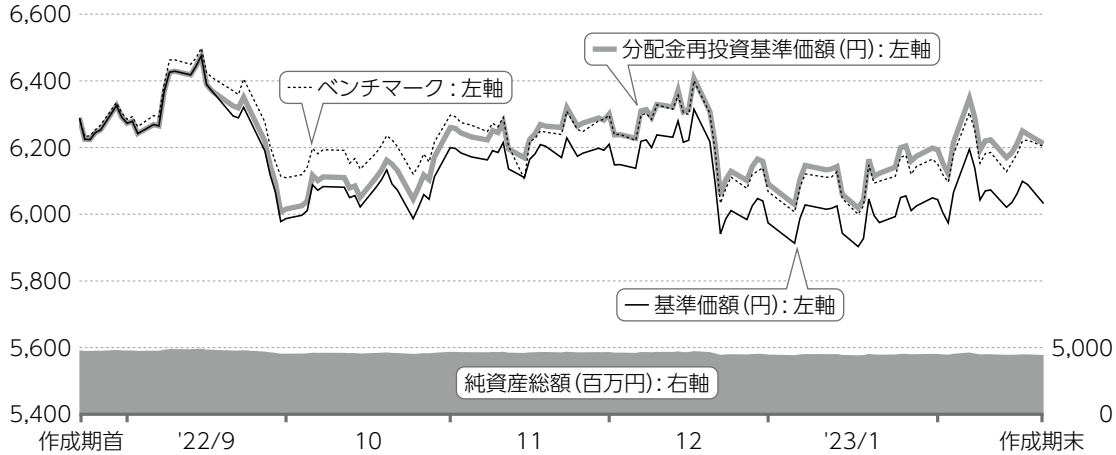
決算期	年月日	基準価額		（ベンチマーク）JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算）		公社債組入比率
			騰落率		騰落率	
		円	％		％	％
第228期	（期首）2022年８月22日	6,289	－	344.75	－	93.8
	８月末	6,273	△0.3	344.53	△0.1	93.2
	（期末）2022年９月20日	6,325	0.6	349.21	1.3	93.5
第229期	（期首）2022年９月20日	6,295	－	349.21	－	93.5
	９月末	5,987	△4.9	334.91	△4.1	92.6
	（期末）2022年10月20日	6,121	△2.8	341.14	△2.3	93.2
第230期	（期首）2022年10月20日	6,091	－	341.14	－	93.2
	10月末	6,200	1.8	345.20	1.2	93.2
	（期末）2022年11月21日	6,200	1.8	342.02	0.3	91.6
第231期	（期首）2022年11月21日	6,170	－	342.02	－	91.6
	11月末	6,210	0.6	345.18	0.9	90.4
	（期末）2022年12月20日	6,123	△0.8	339.32	△0.8	90.7
第232期	（期首）2022年12月20日	6,093	－	339.32	－	90.7
	12月末	5,974	△2.0	332.62	△2.0	90.2
	（期末）2023年１月20日	6,005	△1.4	334.34	△1.5	93.7
第233期	（期首）2023年１月20日	5,975	－	334.34	－	93.7
	１月末	6,044	1.2	337.17	0.8	94.5
	（期末）2023年２月20日	6,062	1.5	340.04	1.7	94.9

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	6,289円
作成期末	6,032円 （当作成期既払分配金180円（税引前））
騰 落 率	－1.2% （分配金再投資ベース）

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。（以下、同じ）

※当ファンドのベンチマークは、ＪＰモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

当ファンドは、エマージング債券マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に実質的に投資しました。

上昇要因

- ●高利回りのフロンティア国（経済成長率は高いものの小規模で流動性が低い国）であるドミニカ共和国、アンゴラ、バハマ、コートジボワール、セネガルの債券が投資家心理の改善の恩恵を受けたこと
- ●エジプト、エルサルバドル、アルゼンチン、エクアドルの債券が投資家の利回り需要の恩恵を受けたこと
- ●メキシコは、高利回りの準ソブリン債（政府系企業などが発行する債券）のMEXCAT（MEXICO CITY AIRPORT TRUST）、PEMEX（PETROLEOS MEXICANOS）がプラスとなったこと
- ●オマーンは、同国のファンダメンタルズ（基礎的条件）の改善が好感されたこと

下落要因

- ●金利上昇を背景にデュレーション*の長いサウジアラビアやカタールの債券価格が低迷したこと
- ●インドネシアは、デュレーションの長いソブリン債（政府や政府機関、国際機関などが発行する債券）および準ソブリン債の保有がマイナスとなったこと
- ●多額の債務を抱えているガーナは、ＩＭＦ（国際通貨基金）の支援プログラムに必要な改革に遅れが生じていること

＊デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

投資環境について（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

期間におけるエマージング債券市場は、上昇しました。また、為替市場では、米ドルは対円で下落しました。

エマージング債券市場

期間のエマージング債券市場は上昇しました。インフレ鈍化の兆しがみえ始めたことにより投資家心理が改善する中で、米国国債利回りは上昇し、クレジットスプレッド（先進国国債に対する上乗せ金利）は大幅に縮小しました。

ＩＭＦは、いくつかの主要国の国内経済が堅調であったことなどを背景に2023年における世界の経済成長率の見通しを0.20％引き上げ2.9％に上方修正しました。一方で、下振れリスクは緩和されたものの依然として続いていると警告しました。インフレ高進に対してＦＲＢ（米連邦準備制度理事会）は積極的に利上げを行いましたが、当期間末にかけてインフレ鈍化の兆しがみえたことから利上げペースを減速させました。中国では、注目されていた中国共産党大会において習近平総書記（国家主席）が３期目入りを決定しました。社会不安が高まる中でも、中国政府は入出国を含む多くの新型コロナウイルス関連の行動規制を緩和しました。日本銀行は、マイナス金利を維持しましたが10年国債利回りの許容変動幅をこれまでの２倍となる水準に拡大し、超低金利政策の転換を予感させるものとして市場に衝撃を与えました。トルコでは高水準のインフレ率にもかかわらず政策金利を引き下げる異例の金融政策を維持しました。

為替市場

米ドル・円は、日本銀行が金利上昇を抑制するスタンスを維持する一方で、インフレ懸念の高まりを背景に米国の政策金利の見通しが大幅に引き上げられたことなどから、日米金利差が拡大するとの観測が強まり、2022年10月にかけて円売り・米ドル買いが進みました。その後、11月に発表された10月の米ＣＰＩ（消費者物価指数）が市場予想を下回ると、米国の利上げペースが鈍化するとの見方から円が急騰しました。また、12月に日本銀行が金融政策を修正し、長期金利（10年国債利回り）の許容変動幅を従来の±0.25％程度から±0.5％程度に変更すると、日米の金利差がさらに縮小するとの観測が強まり、米ドル安・円高が進み、期間を通じては、米ドル安・円高となりました。

ポートフォリオについて（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

当ファンド

主要投資対象であるエマージング債券マザーファンドを期間を通じて高位に組み入れました。

エマージング債券マザーファンド

利回り水準が魅力的でファンダメンタルズも堅調であることから、コートジボワール、ドミニカ共和国、セネガルなどの確信度の高いフロンティア国のオーバーウェイト幅を拡大しました。

バミューダ、ケニア、アゼルバイジャンなどのフロンティア国は、利回り水準が魅力的であり、ファンダメンタルズの改善がみられているため、バリュエーション（投資価値評価）の観点から新規購入しました。

中国は大幅なアンダーウェイトを維持しました。同国は経済再開により経済成長が期待されるものの、新たな半導体輸出規制などを受けて米中間の緊張が高まりました。

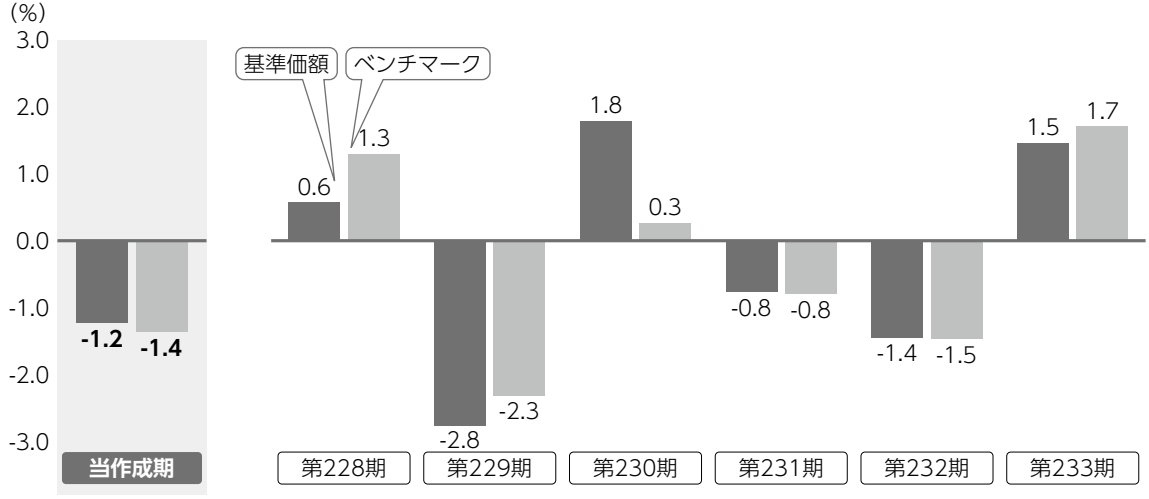
ＵＡＥ（アラブ首長国連邦）、サウジアラビア、マレーシアは、信用格付けが高く、金利感応度が高いことなどを踏まえて、大幅なアンダーウェイトとしました。

ベンチマークとの差異について（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

当ファンドは、ＪＰモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算）をベンチマークとしています。

以下のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

基準価額とベンチマークの騰落率対比



※当作成期の基準価額は分配金再投資ベース、各期は分配金（税引前）込み。

ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は－1.2％（分配金再投資ベース）となり、ベンチマークの騰落率－1.4％を0.2％上回りました。

当ファンドの主要投資対象であるエマージング債券マザーファンドにおける主な差異の要因は、以下の通りです。

プラス要因

- ●確信度の高いフロンティア国であるバハマ、エルサルバドル、ドミニカ共和国、アンゴラ、コートジボワールの保有が相対リターンにプラスとなったこと
- ●財政危機に陥ったパキスタン、ザンビア、ガーナのアンダーウェイトが、相対リターンにプラスとなったこと
- ●利回りが低く、金利感応度の高いフィリピン、マレーシア、ウルグアイ、サウジアラビア、ＵＡＥのアンダーウェイトが、金利上昇と投資家の利回り需要の高まりなどを受けて相対リターンにプラスとなったこと
- ●ベンチマーク外のユーロ建てアルバニア債の保有は、ユーロが米ドルに対して上昇したことが相対リターンにプラスとなったこと

マイナス要因

- ●トルコのアンダーウェイトは、トルコ政府の預金保護政策を受けて高利回りのソブリン債が比較的堅調であったため相対リターンにマイナスとなったこと
- ●ケニア、ナイジェリア、ガボンのアンダーウェイトは、高利回りのソブリン債が非常に低い価格水準から反発したこと
- ●インドのオーバーウェイトは、高格付けの同国債券が市場全体の上昇に追随できなかったこと

分配金について（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

期間の１万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、１万口当たり、税引前）

項　目	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期	第233期
当期分配金	30	30	30	30	30	30
（対基準価額比率）	(0.47%)	(0.49%)	(0.48%)	(0.49%)	(0.50%)	(0.49%)
当期の収益	20	23	29	18	18	25
当期の収益以外	9	6	0	11	11	4
翌期繰越分配対象額	1,573	1,567	1,567	1,555	1,544	1,539

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、エマージング債券マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に実質的に投資を行うことにより、安定的かつ高水準の利息収益の確保と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

エマージング債券マザーファンド

現在のエマージング債券市場では、いくつかの国で利上げサイクルが終了に近づいているとの楽観的な見方がエマージング債券を下支えし、クレジットスプレッドの縮小につながりました。しかしながら、依然として外因性のリスクには注意が必要です。一部のエマージング国の固有リスクに加えて、世界的な金利上昇および経済成長の鈍化が厳しい投資環境をもたらしています。

ファンダメンタルズに関しては、いくつかの国では引き続き財政的な圧力がかかっていますが、強い外需に支えられ財政再建が進みました。インフレ圧力を背景に多くのエマージング国の中央銀行が利上げに踏み切ったことから、一部のエマージング国では経済回復に遅れが生じていますが、中国の経済再開はプラスの材料となる可能性があります。

エマージング債券は引き続き魅力的なプレミアムと健全なファンダメンタルズから他の資産クラスと比較してリスク調整後のバリュエーションは魅力的となっています。

当ファンドは独自のプラットフォームに基づき、デフォルト（債務不履行）の可能性が低く、高いリターンが期待できる国を厳選し、投資機会を見出しています。中期的にはボラティリティ（価格変動性）の高まりが予想されるものの、市場の混乱により魅力的なエントリーポイント（取引を開始するタイミング）が生じれば追加投資をしていく方針です。

3 お知らせ

約款変更について

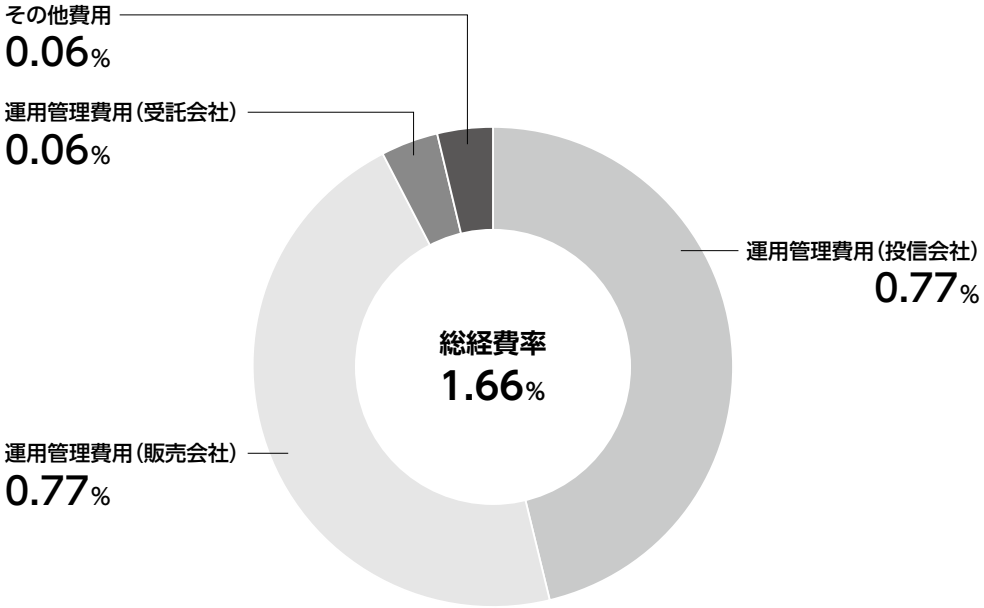
該当事項はございません。

１万口当たりの費用明細（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

項　目	金額	比率	項目の概要
(a) 信　託　報　酬	49円	0.798%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 期中の平均基準価額は6,134円です。
（投　信　会　社）	(23)	(0.383)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販　売　会　社）	(23)	(0.383)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(2)	(0.032)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株　　式）	(－)	(－)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株　　式）	(－)	(－)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公　社　債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) そ の 他 費 用	2	0.031	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保　管　費　用）	(2)	(0.026)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
（監　査　費　用）	(0)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（そ　の　他）	(0)	(0.000)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
合　　計	51	0.829	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「１万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
※各比率は、年率換算した値（小数点以下第２位未満を四捨五入）です。
※上記の前提条件で算出しているため、「１万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.66％です。

当作成期中の売買及び取引の状況（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当作成期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
エマージング債券マザーファンド	4,287	15,253	95,752	342,084

利害関係人との取引状況等（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

組入れ資産の明細（2023年２月20日現在）

親投資信託残高

種類	作成期首	作成期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
エマージング債券マザーファンド	1,335,851	1,244,386	4,446,066

※エマージング債券マザーファンドの作成期末の受益権総口数は1,244,386,038口です。

投資信託財産の構成

（2023年２月20日現在）

項目	作成期末 評価額	作成期末 比率
	千円	%
エマージング債券マザーファンド	4,446,066	99.3
コール・ローン等、その他	31,450	0.7
投資信託財産総額	4,477,517	100.0

※エマージング債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建資産（4,374,202千円）の投資信託財産総額（4,476,168千円）に対する比率は97.7％です。
※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝134.45円、１メキシコ・ペソ＝7.318円、１ユーロ＝143.53円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第228期末 (2022年９月20日)	第229期末 (2022年10月20日)	第230期末 (2022年11月21日)	第231期末 (2022年12月20日)	第232期末 (2023年１月20日)	第233期末 (2023年２月20日)
(A) 資産	**4,812,342,545円**	**4,635,670,005円**	**4,673,592,201円**	**4,597,813,677円**	**4,500,385,773円**	**4,477,517,002円**
コール・ローン等	2,406,770	2,485,159	2,499,917	2,542,673	2,583,681	2,600,046
エマージング債券マザーファンド(評価額)	4,780,796,778	4,603,250,696	4,641,949,426	4,566,786,804	4,468,587,651	4,446,066,875
未収入金	29,138,997	29,934,150	29,142,858	28,484,200	29,214,441	28,850,081
(B) 負債	**30,502,552**	**30,125,857**	**30,283,253**	**28,621,479**	**29,418,379**	**28,821,740**
未払収益分配金	22,787,803	22,684,481	22,576,720	22,498,000	22,449,835	22,126,466
未払解約金	1,527,782	1,241,055	1,054,680	－	630,166	296,003
未払信託報酬	6,144,897	6,116,369	6,523,235	5,954,087	6,127,039	6,145,855
その他未払費用	42,070	83,952	128,618	169,392	211,339	253,416
(C) 純資産総額(A－B)	**4,781,839,993**	**4,605,544,148**	**4,643,308,948**	**4,569,192,198**	**4,470,967,394**	**4,448,695,262**
元本	7,595,934,403	7,561,493,760	7,525,573,547	7,499,333,376	7,483,278,500	7,375,488,816
次期繰越損益金	△2,814,094,410	△2,955,949,612	△2,882,264,599	△2,930,141,178	△3,012,311,106	△2,926,793,554
(D) 受益権総口数	**7,595,934,403口**	**7,561,493,760口**	**7,525,573,547口**	**7,499,333,376口**	**7,483,278,500口**	**7,375,488,816口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**6,295円**	**6,091円**	**6,170円**	**6,093円**	**5,975円**	**6,032円**

※当作成期における作成期首元本額7,626,657,810円、作成期中追加設定元本額38,732,732円、作成期中一部解約元本額289,901,726円です。
※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額（元本の欠損）となります。
※上記表中の受益権総口数および１万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第７号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

損益の状況

項目	第228期 自2022年8月23日 至2022年9月20日	第229期 自2022年9月21日 至2022年10月20日	第230期 自2022年10月21日 至2022年11月21日	第231期 自2022年11月22日 至2022年12月20日	第232期 自2022年12月21日 至2023年1月20日	第233期 自2023年1月21日 至2023年2月20日
(A) 配当等収益	△ 88円	△ 128円	△ 147円	△ 147円	△ 100円	△ 36円
受取利息	－	2	－	－	4	2
支払利息	△ 88	△ 130	△ 147	△ 147	△ 104	△ 38
(B) 有価証券売買損益	33,776,585	△ 125,766,978	88,787,736	△ 29,442,094	△ 59,821,707	70,439,314
売買益	34,022,542	789,940	89,100,772	347,706	247,858	72,058,028
売買損	△ 245,957	△ 126,556,918	△ 313,036	△ 29,789,800	△ 60,069,565	△ 1,618,714
(C) 信託報酬等	△ 6,186,967	△ 6,158,251	△ 6,567,901	△ 5,994,861	△ 6,168,991	△ 6,187,932
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	27,589,530	△ 131,925,357	82,219,688	△ 35,437,102	△ 65,990,798	64,251,346
(E) 前期繰越損益金	39,904,387	44,469,061	△ 109,530,191	△ 49,666,422	△ 107,266,831	△ 192,716,151
(F) 追加信託差損益金	△2,858,800,524	△2,845,808,835	△2,832,377,376	△2,822,539,654	△2,816,603,642	△2,776,202,283
(配当等相当額)	(221,947,643)	(221,694,709)	(221,412,106)	(221,546,553)	(221,995,843)	(219,626,854)
(売買損益相当額)	(△3,080,748,167)	(△3,067,503,544)	(△3,053,789,482)	(△3,044,086,207)	(△3,038,599,485)	(△2,995,829,137)
(G) 合計(D＋E＋F)	△2,791,306,607	△2,933,265,131	△2,859,687,879	△2,907,643,178	△2,989,861,271	△2,904,667,088
(H) 収益分配金	△ 22,787,803	△ 22,684,481	△ 22,576,720	△ 22,498,000	△ 22,449,835	△ 22,126,466
次期繰越損益金(G＋H)	△2,814,094,410	△2,955,949,612	△2,882,264,599	△2,930,141,178	△3,012,311,106	△2,926,793,554
追加信託差損益金	△2,858,800,524	△2,845,808,835	△2,832,377,376	△2,822,539,654	△2,816,603,642	△2,776,202,283
(配当等相当額)	(221,952,924)	(221,700,690)	(221,419,015)	(221,553,778)	(222,002,262)	(219,633,710)
(売買損益相当額)	(△3,080,753,448)	(△3,067,509,525)	(△3,053,796,391)	(△3,044,093,432)	(△3,038,605,904)	(△2,995,835,993)
分配準備積立金	973,519,297	963,631,257	957,888,870	945,111,737	933,551,404	916,110,105
繰越損益金	△ 928,813,183	△1,073,772,034	△1,007,776,093	△1,052,713,261	△1,129,258,868	△1,066,701,376

※**有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
※株式投信の**信託報酬等**には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。
※**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は9,678,936円です。
※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期	第233期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,696,061円	17,958,435円	22,176,426円	13,960,490円	13,829,264円	18,954,142円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) **収益調整金**	221,952,924	221,700,690	221,419,015	221,553,778	222,002,262	219,633,710
(d) **分配準備積立金**	980,611,039	968,357,303	958,289,164	953,649,247	942,171,975	919,282,429
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	1,218,260,024	1,208,016,428	1,201,884,605	1,189,163,515	1,178,003,501	1,157,870,281
1万口当たり当期分配対象額	1,603.83	1,597.59	1,597.07	1,585.69	1,574.18	1,569.89
(f) **分配金**	22,787,803	22,684,481	22,576,720	22,498,000	22,449,835	22,126,466
1万口当たり分配金	30	30	30	30	30	30

分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期	第233期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第１項各号に該当する事項はありません。

エマージング債券マザーファンド

第39期（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

信託期間	無期限（設定日：2003年９月２日）
運用方針	■主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に投資を行うことにより、安定的かつ高水準の利息収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。 ■組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ■運用の指図に関する権限をティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドに委託します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

最近５期の運用実績

決算期	基準価額		（ベンチマーク）JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算）		公社債組入比率	純資産総額
		期中騰落率		期中騰落率		
	円	%		%	%	百万円
35期（2021年２月22日）	32,673	2.3	320.57	1.0	95.2	5,621
36期（2021年８月20日）	34,905	6.8	340.18	6.1	95.2	5,553
37期（2022年２月21日）	34,344	△1.6	334.82	△1.6	94.4	5,024
38期（2022年８月22日）	35,887	4.5	344.75	3.0	93.9	4,793
39期（2023年２月20日）	35,729	△0.4	340.04	△1.4	95.0	4,446

※ベンチマークは、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年　月　日	基準価額		（ベンチマーク）ＪＰモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算）		公社債組入比率
		騰落率		騰落率	
（期首）2022年８月22日	円 35,887	% －	344.75	% －	% 93.9
８月末	35,812	△0.2	344.53	△0.1	93.3
９月末	34,382	△4.2	334.91	△2.9	92.6
10月末	35,830	△0.2	345.20	0.1	93.2
11月末	36,111	0.6	345.18	0.1	90.4
12月末	34,955	△2.6	332.62	△3.5	90.2
2023年１月末	35,592	△0.8	337.17	△2.2	94.5
（期末）2023年２月20日	35,729	△0.4	340.04	△1.4	95.0

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶基準価額等の推移について（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

基準価額等の推移

期　　首	35,887円
期　　末	35,729円
騰 落 率	－0.4％

※ベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドのベンチマークは、ＪＰモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算）です。
※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶基準価額の主な変動要因（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

主として新興国の政府および政府機関等の発行する米ドル建ての債券を中心に投資を行うことにより、安定的かつ高水準の利息収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。

上昇要因	・高利回りのフロンティア国（経済成長率は高いものの小規模で流動性が低い国）であるドミニカ共和国、アンゴラ、バハマ、コートジボワール、セネガルの債券が投資家心理の改善の恩恵を受けたこと ・エジプト、エルサルバドル、アルゼンチン、エクアドルの債券が投資家の利回り需要の恩恵を受けたこと ・メキシコは、高利回りの準ソブリン債（政府系企業などが発行する債券）のＭＥＸＣＡＴ（MEXICO CITY AIRPORT TRUST）、ＰＥＭＥＸ（PETROLEOS MEXICANOS）がプラスとなったこと ・オマーンは、同国のファンダメンタルズ（基礎的条件）の改善が好感されたこと
下落要因	・金利上昇を背景にデュレーション*の長いサウジアラビアやカタールの債券価格が低迷したこと ・インドネシアは、デュレーションの長いソブリン債（政府や政府機関、国際機関などが発行する債券）および準ソブリン債の保有がマイナスとなったこと ・多額の債務を抱えているガーナは、ＩＭＦ（国際通貨基金）の支援プログラムに必要な改革に遅れが生じていること

＊デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

▶投資環境について（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

期間におけるエマージング債券市場は、上昇しました。また、為替市場では、米ドルは対円で下落しました。

エマージング債券市場

期間のエマージング債券市場は上昇しました。インフレ鈍化の兆しがみえ始めたことにより投資家心理が改善する中で、米国国債利回りは上昇し、クレジットスプレッド（先進国国債に対する上乗せ金利）は大幅に縮小しました。

ＩＭＦは、いくつかの主要国の国内経済が堅調であったことなどを背景に2023年における世界の経済成長率の見通しを0.20％引き上げ2.9％に上方修正しました。一方で、下振れリスクは緩和されたものの依然として続いていると警告しました。インフレ高進に対してＦＲＢ（米連邦準備制度理事会）は積極的に利上げを行いましたが、当期間末にかけてインフレ鈍化の兆しがみえたことから利上げペースを減速させました。中国では、注目されていた中国共産党大会において習近平総書記（国家主席）が３期目入りを決定しました。社会不安が高まる中でも、中国政府は入出国を含む多くの新型コロナウイルス関連の行動規制を緩和しました。日本銀行は、マイナス金利を維持しましたが10年国債利回りの許容変動幅をこれまでの２倍となる水準に拡大し、超低金利政策の転換を予感させるものとして市場に衝撃を与えました。トルコでは高水準のインフレ率にもかかわらず政策金利を引き下げる異例の金融政策を維持しました。

為替市場

米ドル・円は、日本銀行が金利上昇を抑制するスタンスを維持する一方で、インフレ懸念の高まりを背景に米国の政策金利の見通しが大幅に引き上げられたことなどから、日米金利差が拡大するとの観測が強まり、2022年10月にかけて円売り・米ドル買いが進みました。その後、11月に発表された10月の米ＣＰＩ（消費者物価指数）が市場予想を下回ると、米国の利上げペースが鈍化するとの見方から円が急騰しました。また、12月に日本銀行が金融政策を修正し、長期金利（10年国債利回り）の許容変動幅を従来の±0.25％程度から±0.5％程度に変更すると、日米の金利差がさらに縮小するとの観測が強まり、米ドル安・円高が進み、期間を通じては、米ドル安・円高となりました。

▶ポートフォリオについて（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

利回り水準が魅力的でファンダメンタルズも堅調であることから、コートジボワール、ドミニカ共和国、セネガルなどの確信度の高いフロンティア国のオーバーウェイト幅を拡大しました。

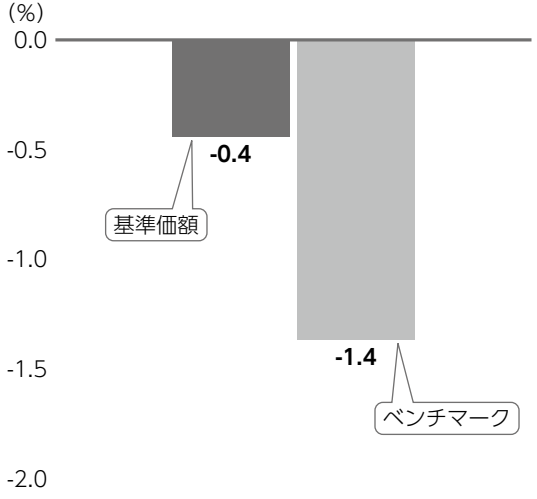
バミューダ、ケニア、アゼルバイジャンなどのフロンティア国は、利回り水準が魅力的であり、ファンダメンタルズの改善がみられているため、バリュエーション（投資価値評価）の観点から新規購入しました。

中国は大幅なアンダーウェイトを維持しました。同国は経済再開により経済成長が期待されるものの、新たな半導体輸出規制などを受けて米中間の緊張が高まりました。

ＵＡＥ（アラブ首長国連邦）、サウジアラビア、マレーシアは、信用格付けが高く、金利感応度が高いことなどを踏まえて、大幅なアンダーウェイトとしました。

▶ベンチマークとの差異について（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

基準価額とベンチマークの騰落率対比



当ファンドは、ＪＰモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算）をベンチマークとしています。

左のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

【ベンチマークとの差異の状況および要因】
基準価額の騰落率は－0.4％となり、ベンチマークの騰落率－1.4％を1.0％上回りました。

プラス要因	・確信度の高いフロンティア国であるバハマ、エルサルバドル、ドミニカ共和国、アンゴラ、コートジボワールの保有が相対リターンにプラスとなったこと ・財政危機に陥ったパキスタン、ザンビア、ガーナのアンダーウェイトが、相対リターンにプラスとなったこと ・利回りが低く、金利感応度の高いフィリピン、マレーシア、ウルグアイ、サウジアラビア、ＵＡＥのアンダーウェイトが、金利上昇と投資家の利回り需要の高まりなどを受けて相対リターンにプラスとなったこと ・ベンチマーク外のユーロ建てアルバニア債の保有は、ユーロが米ドルに対して上昇したことが相対リターンにプラスとなったこと
マイナス要因	・トルコのアンダーウェイトは、トルコ政府の預金保護政策を受けて高利回りのソブリン債が比較的堅調であったため相対リターンにマイナスとなったこと ・ケニア、ナイジェリア、ガボンのアンダーウェイトは、高利回りのソブリン債が非常に低い価格水準から反発したこと ・インドのオーバーウェイトは、高格付けの同国債券が市場全体の上昇に追随できなかったこと

2 今後の運用方針

現在のエマージング債券市場では、いくつかの国で利上げサイクルが終了に近づいているとの楽観的な見方がエマージング債券を下支えし、クレジットスプレッドの縮小につながりました。しかしながら、依然として外因性のリスクには注意が必要です。一部のエマージング国の固有リスクに加えて、世界的な金利上昇および経済成長の鈍化が厳しい投資環境をもたらしています。

ファンダメンタルズに関しては、いくつかの国では引き続き財政的な圧力がかかっていますが、強い外需に支えられ財政再建が進みました。インフレ圧力を背景に多くのエマージング国の中央銀行が利上げに踏み切ったことから、一部のエマージング国では経済回復に遅れが生じていますが、中国の経済再開はプラスの材料となる可能性があります。

エマージング債券は引き続き魅力的なプレミアムと健全なファンダメンタルズから他の資産クラスと比較してリスク調整後のバリュエーションは魅力的となっています。

当ファンドは独自のプラットフォームに基づき、デフォルト（債務不履行）の可能性が低く、高いリターンが期待できる国を厳選し、投資機会を見出しています。中期的にはボラティリティ（価格変動性）の高まりが予想されるものの、市場の混乱により魅力的なエントリーポイント（取引を開始するタイミング）が生じれば追加投資をしていく方針です。

1万口当たりの費用明細（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用	9円	0.026%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
（保管費用）	(9)	(0.026)	
（その他）	(0)	(0.000)	
合計	9	0.026	

期中の平均基準価額は35,577円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

当期中の売買及び取引の状況（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

公社債

				買付額	売付額
外国	アメリカ		国債証券	千アメリカ・ドル 3,164	千アメリカ・ドル 2,876 (198)
			特殊債券	199	249
			社債券	852	1,921
	メキシコ		国債証券	千メキシコ・ペソ 2,257	千メキシコ・ペソ －
	ユーロ			千ユーロ	千ユーロ
		その他	国債証券	161	239

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）
※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
※社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

利害関係人との取引状況等（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。
※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2022年８月23日から2023年２月20日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

組入れ資産の明細（2023年２月20日現在）

公社債

Ａ　債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区分	期末 額面金額	期末 評価額 外貨建金額	期末 評価額 邦貨換算金額	期末 組入比率	期末 うちＢＢ格以下組入比率	期末 残存期間別組入比率 ５年以上	期末 残存期間別組入比率 ２年以上	期末 残存期間別組入比率 ２年未満
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	37,272	30,438	4,092,437	92.0	47.0	78.7	13.3	0.1
	千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ						
メキシコ	2,350	2,181	15,967	0.4	－	0.4	－	－
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
その他	955	797	114,496	2.6	2.2	1.7	0.9	－
合計	－	－	4,222,901	95.0	49.2	80.7	14.2	0.1

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

Ｂ　個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

区分	銘柄	種類	期末 利率	期末 額面金額	期末 評価額 外貨建金額	期末 評価額 邦貨換算金額	期末 償還年月日
			%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	UNITED MEXICAN STATES	国債証券	4.5000	200	191	25,801	2029/04/22
	UNITED MEXICAN STATES	国債証券	6.3500	200	207	27,943	2035/02/09
	PANAMA	国債証券	6.7000	250	266	35,795	2036/01/26
	REPUBLIC OF PANAMA	国債証券	2.2520	200	150	20,184	2032/09/29
	REPUBLIC OF PANAMA	国債証券	4.5000	200	145	19,590	2063/01/19
	REPUBLIC OF PANAMA	国債証券	6.4000	200	208	27,978	2035/02/14
	DOMINICAN REPUBLIC	国債証券	6.8500	695	629	84,600	2045/01/27
	DOMINICAN REPUBLIC	国債証券	4.8750	300	254	34,164	2032/09/23
	DOMINICAN REPUBLIC	国債証券	4.8750	450	381	51,247	2032/09/23
	DOMINICAN REPUBLIC	国債証券	4.5000	150	130	17,491	2030/01/30
	DOMINICAN REPUBLIC	国債証券	5.5000	150	140	18,847	2029/02/22
	DOMINICAN REPUBLIC	国債証券	5.8750	150	113	15,299	2060/01/30
	REPUBLIC OF EL SALVADOR	国債証券	7.6500	75	34	4,645	2035/06/15
	REPUBLIC OF EL SALVADOR	国債証券	5.8750	40	29	3,957	2025/01/30
	REPUBLIC OF EL SALVADOR	国債証券	6.3750	410	211	28,419	2027/01/18
	GOVERNMENT OF JAMAICA	国債証券	6.7500	250	264	35,541	2028/04/28
	BARBADOS GOVT OF	国債証券	6.5000	30	27	3,756	2029/10/01
	FED REPUBLIC OF BRAZIL	国債証券	5.6250	180	155	20,880	2041/01/07
	REPUBLIC OF CHILE	国債証券	4.0000	200	159	21,406	2052/01/31

区分	銘柄	種類	期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
	REPUBLIC OF CHILE	国債証券	3.5000	200	173	23,391	2034/01/31
	REPUBLIC OF CHILE	国債証券	3.2500	200	126	16,976	2071/09/21
	REPUBLIC OF COLOMBIA	国債証券	6.1250	200	154	20,720	2041/01/18
	REPUBLIC OF COLOMBIA	国債証券	5.0000	200	130	17,494	2045/06/15
	REPUBLIC OF COLOMBIA	国債証券	4.5000	300	283	38,137	2026/01/28
	REPUBLIC OF COLOMBIA	国債証券	4.1250	200	114	15,419	2051/05/15
	REPUBLIC OF COLOMBIA	国債証券	3.1250	450	326	43,903	2031/04/15
	REPUBLIC OF ECUADOR	国債証券	2.5000	355	136	18,391	2035/07/31
	REPUBLIC OF ECUADOR	国債証券	5.5000	315	164	22,067	2030/07/31
	REPUBLIC OF ECUADOR	国債証券	2.5000	505	194	26,163	2035/07/31
	REPUBLIC OF PERU	国債証券	3.3000	195	144	19,404	2041/03/11
	REPUBLIC OF PERU	国債証券	2.7830	200	166	22,406	2031/01/23
	REPUBLIC OF PERU	国債証券	2.7800	290	170	22,929	2060/12/01
	REPUBLIC OF PERU	国債証券	3.5500	60	43	5,813	2051/03/10
	REPUBLICA ORIENT URUGUAY	国債証券	5.7500	180	194	26,192	2034/10/28
	ROMANIA	国債証券	3.0000	384	311	41,880	2031/02/14
	ROMANIA	国債証券	4.0000	418	285	38,330	2051/02/14
	REPUBLIC OF SERBIA	国債証券	2.1250	600	443	59,665	2030/12/01
	REPUBLIC OF SERBIA	国債証券	6.2500	200	199	26,841	2028/05/26
	GOVT OF BERMUDA	国債証券	5.0000	400	393	52,904	2032/07/15
	REPUBLIC OF PHILIPPINES	国債証券	7.7500	250	294	39,561	2031/01/14
	REPUBLIC OF PHILIPPINES	国債証券	4.6250	200	197	26,600	2028/07/17
	REPUBLIC OF INDONESIA	国債証券	4.6250	500	452	60,834	2043/04/15
	KINGDOM OF JORDAN	国債証券	5.8500	650	595	80,074	2030/07/07
	ISLAMIC REP OF PAKISTAN	国債証券	7.8750	100	42	5,756	2036/03/31
	STATE OF QATAR	国債証券	4.5000	500	501	67,387	2028/04/23
	STATE OF QATAR	国債証券	4.8170	300	288	38,752	2049/03/14
	STATE OF QATAR	国債証券	4.0000	200	195	26,343	2029/03/14
	REPUBLIC OF TURKEY	国債証券	6.0000	350	244	32,882	2041/01/14
	REPUBLIC OF TURKEY	国債証券	4.8750	350	304	40,952	2026/10/09
	REPUBLIC OF TURKEY	国債証券	9.3750	200	190	25,579	2033/01/19
	REPUBLIC OF SRI LANKA	国債証券	0.0000	300	109	14,713	2025/11/03
	REPUBLIC OF SRI LANKA	国債証券	0.0000	550	205	27,603	2025/06/03
	ARAB REPUBLIC OF EGYPT	国債証券	8.5000	222	148	19,997	2047/01/31
	ARAB REPUBLIC OF EGYPT	国債証券	7.9030	300	190	25,657	2048/02/21
	ARAB REPUBLIC OF EGYPT	国債証券	5.8750	200	138	18,620	2031/02/16
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	5.6500	500	367	49,363	2047/09/27
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	5.8750	200	179	24,160	2032/04/20
	REPUBLIC OF GHANA	国債証券	0.0000	200	77	10,419	2034/04/07
	KINGDOM OF MOROCCO	国債証券	5.5000	400	337	45,326	2042/12/11
	KINGDOM OF MOROCCO	国債証券	3.0000	200	156	20,990	2032/12/15
	KINGDOM OF MOROCCO	国債証券	4.0000	200	131	17,696	2050/12/15

区分	銘柄	種類	期末 利率	期末 額面金額	期末 評価額 外貨建金額	期末 評価額 邦貨換算金額	期末 償還年月日
	REPUBLIC OF NIGERIA	国債証券	7.8750	400	299	40,306	2032/02/16
	REPUBLIC OF SENEGAL	国債証券	6.2500	1,000	830	111,664	2033/05/23
	MONGOLIA INTL BOND	国債証券	4.4500	200	163	21,915	2031/07/07
	REPUBLIC OF ARGENTINA	国債証券	3.8750	750	244	32,832	2038/01/09
	REPUBLIC OF ARGENTINA	国債証券	1.5000	215	56	7,652	2035/07/09
	REPUBLIC OF ARGENTINA	国債証券	0.5000	183	55	7,509	2030/07/09
	REPUBLIC OF GUATEMALA	国債証券	4.5000	350	337	45,352	2026/05/03
	REPUBLIC OF GUATEMALA	国債証券	4.9000	400	374	50,328	2030/06/01
	COSTA RICA GOVERNMENT	国債証券	5.6250	200	165	22,289	2043/04/30
	REPUBLIC OF ANGOLA	国債証券	9.5000	200	202	27,263	2025/11/12
	REPUBLIC OF ANGOLA	国債証券	9.1250	200	166	22,321	2049/11/26
	REPUBLIC OF ANGOLA	国債証券	8.2500	200	183	24,694	2028/05/09
	REPUBLIC OF ANGOLA	国債証券	8.0000	200	179	24,086	2029/11/26
	COMMONWEALTH OF BAHAMAS	国債証券	6.0000	400	332	44,702	2028/11/21
	IVORY COAST	国債証券	5.7500	119	108	14,526	2032/12/31
	IVORY COAST	国債証券	6.1250	625	544	73,202	2033/06/15
	REPUBLIC OF PARAGUAY	国債証券	6.1000	300	287	38,629	2044/08/11
	REPUBLIC OF PARAGUAY	国債証券	5.4000	200	170	22,943	2050/03/30
	REPUBLIC OF PARAGUAY	国債証券	2.7390	200	157	21,212	2033/01/29
	KINGDOM OF BAHRAIN	国債証券	7.5000	200	184	24,744	2047/09/20
	KINGDOM OF BAHRAIN	国債証券	7.0000	450	460	61,863	2028/10/12
	KINGDOM OF BAHRAIN	国債証券	5.6250	500	437	58,863	2034/05/18
	REPUBLIC OF KENYA	国債証券	7.2500	200	175	23,552	2028/02/28
	OMAN GOV INTERNTL BOND	国債証券	4.7500	365	356	47,965	2026/06/15
	OMAN GOV INTERNTL BOND	国債証券	4.7500	350	342	45,994	2026/06/15
	OMAN GOV INTERNTL BOND	国債証券	6.5000	200	189	25,453	2047/03/08
	OMAN GOV INTERNTL BOND	国債証券	6.2500	200	204	27,498	2031/01/25
	SAUDI INTERNATIONAL BOND	国債証券	4.5000	400	343	46,120	2060/04/22
	PERUSAHAAN PENERBIT SBSN	国債証券	4.5500	700	696	93,678	2026/03/29
	PERUSAHAAN PENERBIT SBSN	国債証券	4.4500	400	392	52,827	2029/02/20
	PERUSAHAAN PENERBIT SBSN	国債証券	2.8000	200	176	23,705	2030/06/23
	REPUBLIC OF UZBEKISTAN	国債証券	5.3750	400	372	50,123	2029/02/20
	REPUBLIC OF AZERBAIJAN	国債証券	3.5000	200	172	23,159	2032/09/01
	PETROLEOS MEXICANOS	特殊債券	5.5000	275	164	22,136	2044/06/27
	EXPORT-IMPORT BANK KOREA	特殊債券	5.0000	200	201	27,123	2028/01/11
	PERTAMINA PT	特殊債券	6.0000	350	340	45,766	2042/05/03
	EXPORT-IMPORT BK INDIA	特殊債券	3.2500	200	174	23,448	2030/01/15
	EXPORT-IMPORT BK INDIA	特殊債券	2.2500	700	556	74,832	2031/01/13
	BANCO NACIONAL COM EXT	特殊債券	2.7200	300	253	34,032	2031/08/11
	PEMEX PROJ FDG MASTER TR	社債券	6.6250	450	317	42,630	2038/06/15
	PETROLEOS MEXICANOS	社債券	4.5000	125	115	15,516	2026/01/23
	PETROLEOS MEXICANOS	社債券	6.5000	375	343	46,227	2027/03/13
	PETROLEOS MEXICANOS	社債券	8.7500	400	380	51,156	2029/06/02

区分		銘柄	種類	期末 利率	期末 額面金額	期末 評価額 外貨建金額	期末 評価額 邦貨換算金額	期末 償還年月日
		PETROLEOS MEXICANOS	社債券	10.0000	70	67	9,116	2033/02/07
		OOREDOO INTL FINANCE	社債券	2.6250	200	173	23,323	2031/04/08
		DP WORLD CRESCENT LTD	社債券	3.8750	400	378	50,847	2029/07/18
		CODELCO INC	社債券	5.1250	200	196	26,471	2033/02/02
		CODELCO INC	社債券	3.1500	200	176	23,718	2030/01/14
		ECOPETROL SA	社債券	5.8750	65	43	5,866	2045/05/28
		ECOPETROL SA	社債券	4.6250	155	117	15,759	2031/11/02
		ECOPETROL SA	社債券	6.8750	20	18	2,424	2030/04/29
		KAZMUNAYGAS NATIONAL CO	社債券	5.7500	200	159	21,404	2047/04/19
		EXPORT-IMPORT BK INDIA	社債券	3.3750	325	303	40,789	2026/08/05
		RUWAIS POWER CO	社債券	6.0000	200	208	28,099	2036/08/31
		ORYX FUNDING LTD	社債券	5.8000	200	197	26,509	2031/02/03
		STATE GRID OVERSEAS INV	社債券	4.3750	200	188	25,330	2043/05/22
		MEXICO CITY ARPT TRUST	社債券	5.5000	250	189	25,454	2047/07/31
		EQUATE PETROCHEMICAL BV	社債券	4.2500	200	194	26,103	2026/11/03
		OZTEL HLDG SPC LTD	社債券	6.6250	200	209	28,110	2028/04/24
		SAUDI ARABIAN OIL CO	社債券	4.2500	250	222	29,891	2039/04/16
		SAUDI ARABIAN OIL CO	社債券	3.5000	300	276	37,158	2029/04/16
		EMPRESA DE TRANSPORTE ME	社債券	4.7000	200	175	23,638	2050/05/07
		BANCO NACIONAL DE PANAMA	社債券	2.5000	700	564	75,864	2030/08/11
		BANK NEGARA INDONESIA	社債券	3.7500	200	184	24,872	2026/03/30
		ABU DHABI PORTS CO PJSC	社債券	2.5000	200	166	22,446	2031/05/06
		QATAR PETROLEUM	社債券	2.2500	200	166	22,381	2031/07/12
		QATAR PETROLEUM	社債券	3.1250	200	153	20,575	2041/07/12
		EMPRESA DE LOS FERROCARR	社債券	3.0680	200	124	16,696	2050/08/18
		AEROPUERTO INTL TOCUMEN	社債券	4.0000	200	162	21,855	2041/08/11
		小計		—	37,272	30,438	4,092,437	—
メキシコ		MEX BONOS DESARR FIX RT	国債証券	7.7500	千メキシコ・ペソ 2,350	千メキシコ・ペソ 2,181	15,967	2031/05/29
		小計		—	2,350	2,181	15,967	—
ユーロ					千ユーロ	千ユーロ		
	その他	ROMANIA	国債証券	2.8750	40	23	3,344	2042/04/13
		REPUBLIC OF POLAND	国債証券	3.8750	90	88	12,649	2033/02/14
		IVORY COAST	国債証券	6.6250	125	88	12,712	2048/03/22
		IVORY COAST	国債証券	4.8750	100	77	11,084	2032/01/30
		REPUBLIC OF ALBANIA	国債証券	3.5000	300	270	38,883	2027/06/16
		REPUBLIC OF ALBANIA	国債証券	3.5000	300	249	35,822	2031/11/23
		小計		—	955	797	114,496	—
		合計		—	—	—	4,222,901	—

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

投資信託財産の構成

（2023年２月20日現在）

項目	期末 評価額	期末 比率
	千円	％
公社債	4,222,901	94.3
コール・ローン等、その他	253,267	5.7
投資信託財産総額	4,476,168	100.0

※期末における外貨建資産（4,374,202千円）の投資信託財産総額（4,476,168千円）に対する比率は97.7％です。
※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝134.45円、１メキシコ・ペソ＝7.318円、１ユーロ＝143.53円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2023年２月20日現在）

項目	期末
(A) 資産	**4,765,689,470円**
コール・ローン等	194,143,879
公社債(評価額)	4,222,901,593
未収入金	292,674,189
未収利息	54,164,377
前払費用	1,805,432
(B) 負債	**319,662,739**
未払金	290,812,433
未払解約金	28,850,081
その他未払費用	225
(C) 純資産総額(A－B)	**4,446,026,731**
元本	1,244,386,038
次期繰越損益金	3,201,640,693
(D) 受益権総口数	**1,244,386,038口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**35,729円**

※当期における期首元本額1,335,851,031円、期中追加設定元本額4,287,559円、期中一部解約元本額95,752,552円です。
※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額（元本の欠損）となります。
※期末における元本の内訳は以下の通りです。
エマージング債券ファンド（毎月分配型）　1,244,386,038円
※上記表中の受益権総口数および１万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第７号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

損益の状況

（自2022年８月23日　至2023年２月20日）

項目	当期
(A) 配当等収益	**124,560,146円**
受取利息	123,879,357
その他収益金	708,996
支払利息	△ 28,207
(B) 有価証券売買損益	**△ 144,479,482**
売買益	98,745,293
売買損	△ 243,224,775
(C) その他費用等	**△ 1,163,758**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△ 21,083,094**
(E) 前期繰越損益金	**3,458,090,180**
(F) 解約差損益金	**△ 246,331,922**
(G) 追加信託差損益金	**10,965,529**
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	**3,201,640,693**
次期繰越損益金(H)	**3,201,640,693**

※**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
※**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
※**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

お知らせ

＜約款変更について＞

該当事項はございません。